



2019年4月26日

各位

会社名 V Tホールディングス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 高橋 一穂
 (コード: 7593 東証、名証1部)
 問合せ先 常務取締役管理部長 山内 一郎
 (TEL . 052 - 203 - 9500)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期決算において、特別損失を計上するとともに、2018年5月11日に公表した2019年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正 (2018年4月1日~2019年3月31日) (単位: 百万円)

連結	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	210,000	8,000	8,200	4,800	40円90銭
今回修正予想 (B)	218,000	6,100	6,300	2,500	21円30銭
増減額 (B - A)	8,000	1,900	1,900	2,300	
増減率 (%)	3.8	23.8	23.2	47.9	
(参考) 前期実績 (2018年3月期)	202,133	6,780	7,173	3,765	32円00銭

2. 修正の理由

2019年3月期の連結業績につきましては、国内の自動車販売関連事業において、顧客基盤拡大のために積極的に販売台数を伸長させる販売展開を行ったこと等により、売上高は当初計画を上回る見込みとなりましたが、販売台数優先の取り組みが新車粗利の減少につながる等の減益要因となり、営業利益、経常利益は、当初計画を下回る見込みとなりました。

加えて、下記3.に記載の特別損失等により、親会社株主に帰属する当期純利益についても当初計画を下回る見込みであります。

なお、期末配当予想につきましては当初予定の10円のまま変更しない予定であり、5月13日の決算発表時にあわせて正式決議する予定です。

3. 特別損失の計上について

子会社において、業績の進捗が当初計画を下回り、収益性の低下などによる減損兆候が認められたものにつき、回収可能価額などを総合的に検討した結果、2019年3月期の連結決算において879百万円の減損損失(日産サテリオ奈良の固定資産とのれんの減損損失677百万円、SCOTT'S MOTORS(豪州)の固定資産とのれんの減損損失186百万円、その他15百万円)を特別損失に計上する見込みとなりました。

なお、当該会社に関するものを含め、当社の単体決算においても1,766百万円の関係会社株式評価損(日産サテリオ奈良1,010百万円、SCOTT'S MOTORS(豪州)720百万円、モーターレン静岡36百万円)を計上することになりますが、当該損失は連結決算においては消去されるため、連結決算への影響額は前述の879百万円のみとなります。

以上

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。